

研究発表もうしこみフォーム

氏名：トウムルバートル バトドラム

氏名のローマ字表記：Tumurbaatar Batdulam

所属：東京外国語大学 博士後期課程

専門分野：大学院総合国際学研究科国際社会コース

発表のタイトル：外国人技能実習制度とその課題ーモンゴル人技能実習生の語りからー

発表要旨：（600字～800字程度）

今日まで、外国人技能実習制度のもとで来日する技能実習生の数が年々増加し続けている。技能実習制度に関する従来の先行研究では、在日中の労働問題や制度上の課題が多く取り上げられてきた。しかし、技能実習生個人々のケースに着目したものは少なく、当事者の生の声はほとんど聞こえない。個人々のケースに着目した数少ない論文も中国やベトナムといった技能実習生の占める割合の高い国々に限られている。国によって産業構造や労働政策が様々であることや、中国やベトナムなどの技能実習生を多く輩出している国では比較的制度の整備が進んでいることを考えると、これらの調査結果がモンゴルなどの今後技能実習生の送り出しが増えると考えられる国でも当てはまるとは限らない。

本研究の目的は、技能実習生に占める割合の低いモンゴル人技能実習生に着目し、その生の声から見えてくる課題を考察するとともに、マイノリティの技能実習生ならではの特徴や課題を指摘することである。そして、マイノリティ技能実習生保護を目的としたより良い制度への提案を行うことを試みる。

本研究では、上記のことを明らかにするために、技能実習 1 号から 3 号の現役実習生と途中帰国のモンゴル人技能実習生も含む 26 名にアンケートとインタビュー調査を実施した。アンケート調査結果を①先行研究の裏付け、②先行研究とは異なる新たな発見、③モンゴル人技能実習生の独特な特徴の 3 つに分けて分析した。なお、インタビュー調査は、技能実習生が抱える問題ごとに事例を分類し、アンケート調査結果の深掘りとなるようなケースとインタビュー調査によって新たに浮き彫りとなった課題を整理・分析した。これらの事例からモンゴル人技能実習生は、情報不足、単純労働、低賃金、企業間格差、産業の違いといった問題に加え、生活問題や人権侵害、関連機関の不全など様々な問題に悩まされていることが読み取れた。